

広報

みはら

あなたの暮らしのそばに

感謝していただきます

栄養バランスを考え、地元食材にもこだわった三原の学校給食。4月に入学したばかりの新1年生も毎日おいしく楽しく食べています(5/14 須波小学校 給食の時間)

特集 子どもたちに安全でおいしい給食を…2

- 正・副議長、各常任委員が決定 9
- プレミアム付き商品券を発行します 10
- 生涯学習市民講座を開催 12
- 市民の声 15
- イベント情報 16

6

平成27(2015)年
第123号

「いただきますー」。お昼の教室に響く元気な声。小・中学校で学校生活を送る子どもたちにとって、給食の時間は待ちに待った楽しい時間です。

学校給食は、食べておいしいと感じることはもちろん、栄養バランスや歯ごたえにも配慮して作られています。自然の恵みや食材、料理を作ってくれる人への感謝の気持ちを育み、「食を通じた学びにつなげるのも給食のねらいです。

おいしくて安全な給食をつくる

❖❖❖ 東部共同調理場レポート ❖❖❖

三原市には、東部・西部・北部の3つの共同調理場と鷺浦小学校に調理場があり、そこで全ての市立小中学校の給食を作っています。

このうち、最も大きい東部共同調理場は糸崎にあり、小学校11校、中学校7校の約5,300人分の給食を作っています。

③ 調理(1)

安全を考え野菜は加熱処理します



和え物をつくるときは、スチームコンベクションオーブンで蒸します



加熱後は、真空冷却機ですぐに冷やします



フードカッターや手作業で料理にあわせて切り方を変えます



① 衛生管理

安全な給食づくりの基本です



手から肘まで洗います。爪の中は専用のブラシで



エアリーシャワーでほこりなどの汚れを落とします

② 下処理

専用の部屋で食材の下処理、調味料の計量を行います



キャベツの芯、機械でむき切れなかった皮などは手作業で処理



野菜は前日の午後、肉類は当日の早朝に検収異物の有無、数量、品質、産地など細かく確認



野菜は丁寧に3回洗います



材料ごとに分けます



作る分量に合わせて使用する調味料を計量

④ 調理(2)

素材や調理法にこだわり、おいしさ追求しています



1,000人分を作ることができる大きな釜で力強く炒めます



あくとりもおいしい給食のために欠かしません



調理終了前は、中心温度を3カ所必ず確認。温度管理・加熱状況には特に気を付けます。



連続式揚げ物機で揚げます



きちんと中まで火が通っているか、食品の中心温度を確認

各クラスの人数にあわせて配缶します



素材の味を生かすため、だしはかつお節や昆布、煮干からとります。カレーやシチューのルウは調理場で手作り

⑤ 積み込み

冷たい物は保冷剤で冷たく、温かい物は二重食缶で温かく



はかりを使って人数分の食缶へ



専用コンテナに各クラスの食缶を積み込みます

⑧ 給食の時間

待ちに待った給食の始まり！



『本日のメニュー』
パン・いかサラダ・牛肉と野菜のスープ煮・牛乳



食材や作ってくれた人に感謝して、いただきます！

⑦ 配膳

補助する人と給食当番の子どもが協力して給食を準備



子どもたちが食器と給食を運びます

⑥ 配達

時間どおりに子どもたちのもとへ



各学校専用のコンテナを荷台へ。トラックの荷台と風除室はつながっているので外気に触れません



外側から見たようす

たくさんの人の思いがこもった温かい給食

三原の子どもたちが日々、口にする給食には、「心身ともに健やかにたくましく成長してほしい」という多くの人の願いが込められています。

バランスのとれた献立

献立は子どもの嗜好を考慮しつつ、成長期に必要な栄養を取り入れ、栄養士が考えています。

自校給食から共同調理場となっても、「手作りの味」を腕によりをかけて調理できるようにこだわっています。

おいしくて、栄養があり

安全な給食を子どもたちに



東部共同調理場栄養士
やえがきはるか
八重垣 遥さん

「新しいメニューや家庭では食べられない和食の献立の場合に残食率(給食が残った量)が特に気になります」と話すのは、東部共同調理場の栄養士八重垣 遥さん。「給食を通して食に関する知識が増えるように」と、郷土料理や行事食を取り入れ、季節の味を大切にするため、旬の魚や野菜、果物も出すように努めています。

献立がある程度決まった後、調理員と相談して使用する食材やその切り方を決めるのも業務のひとつ。「子どもたちと作り手の調理員をつなぐ架け橋である栄養士として、献立の見直しも欠かせません」と語ります。

大和町大草の農事組合法人ユートピアかみなかでは、生産する農産物のうちキャベツとれんこんを給食の食材として納めています。市北部の高原地帯に位置し、昼と夜の寒暖の差が大きい大和町は、市内でも野菜の栽培に適した場所のひとつです。

「地元でとれた農水産物は新鮮だけではなく、地元の水や空気ですり込まれて一番おいしくなる」と上田さん。子どもたちに三原の味を届けるため、より良い野菜づくりに余念がありません。

▲6月中旬に収穫期を迎えるキャベツ。順調に育っています (下) 日々の手入れが安全で質の良い野菜づくりにつながります



地産地消へのこだわり

地域で生産された農水産物などを、地域で消費することを「地産地消」といいます。

給食では、市内で生産された大根、長ねぎ、里芋、鶏肉などのほか、特産のわけぎ、れんこん、タコなどを地元食材として使っています。

子どもたちに地元の安心・安全な食材を



重本雅人さん

上田励二さん

小野谷賢二さん

農事組合法人ユートピアかみなか

安全・確実に運ぶ

調理場で作られた給食は、トラックなどで各学校へと届けられます。日々の配送業務の中には、楽しみにしている子どもたちへ給食が安全・確実に届くよう、運転手の皆さんの努力があります。



▲衛生管理を徹底し、トラックは内も外も常に清潔にしておきます



▲1個400キログラムにもなるコンテナの積み下ろしは、最も注意が必要な作業のひとつ

東部共同調理場から学校へ、トラックで食器と給食を運ぶ西永有希夫さん。毎日、調理場と担当する学校との間を3〜5往復しています。

運転手として40年近い経験がある西永さんですが、給食の配送には特に気を使っています。

「事故や違反を起こせば、時間通りに給食を届けることができません。遅れば、学校や子どもに大きな迷惑をかけると思います。」

「給食は子どもたちの成長の糧^{かて}。生きていくための命の源です。大切な命を運んでいるのだと思って、細心の注意を払っています」と西永さん。今日も白衣に身を包み、心を込めた運転を続けています。



運んでいるのは
命だと思っています

調理場から学校へ給食を運ぶ
西永有希夫さん

笑顔で届ける

調理場で作られた給食を子どもたちへ届ける最後の担い手が、各学校で配膳を補助する人たちです。

配膳や食べる時の決まりは学校ごとに違いますが、基本は食べ物や食器を丁寧に扱うこと。学びと楽しみを両立するため、大人たちが手助けをしています。



子どもたちに
作り手の思いが届くように

小学校で配膳を補助する
大脇君枝さん

「給食の先生、ありがとう」。須波小学校の配膳室には、今日も子どもたちの元気な声が響きます。そのあいさつに笑顔で応えながら、食器や食缶を手際よく手渡ししていく大脇君枝さん。2年前から、ここで給食の準備を手伝う配膳補助をしています。

配送されたコンテナの中を確認し、食器や食缶を学年ごとに仕分け、別に届いたパンや牛乳とセットにしています。給食が終われば、戻ってきた食器や残菜を整理してコンテナに入れ、再び配送車へと引き渡します。

最も気を使うのが衛生管理です。配膳室の清掃や消毒も日々の欠かせない業務。「この仕事を始めて、自分の健康にも気を付けるようになった」と言います。



▶(上)牛乳は消毒しながら、数を確認して学年ごとに分けます (下)低学年には運ぶのが大変な食器や食缶。声を掛けながら手渡します

「給食は調理員の皆さんが毎日、心を込めて作っています。その給食をできるだけそのまま子どもに届けることが私の仕事です」と大脇さん。給食と真心も届ける大切な橋渡し役です。

学校給食で学びを食育推進の取り組み

国の食育基本法では、「食」は子どもたちの豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくために何よりも重要なものだとしています。

学校給食は、食を学ぶための教材としても活用され、子どもたちは毎日の給食を通じて、食事の重要性や食品を選ぶ力、感謝の心、食文化などを学んでいます。

市内の小・中学校でも、給食を通じて食育を推進するさまざまな取り組みを行っています。



▲沼北小学校6年生の給食時間のようです。子どもたちは笑顔いっぱいです

出されたものは
残さずいただきます

残菜ゼロの取り組み

市内の小・中学校では食育の一環として、給食を残さず食べる「残菜ゼロ」の取り組みを行っています。

昨年度から本格的に残菜ゼロに取り組んだ沼北小学校。大切にしているのは、食べ物を大切にし、給食作りに関わる全ての人に感謝の気持ちを持つことです。

月1回、調理場から栄養士を招き、残さず食べることの大切さや食事のマナーなどを学年ごとに指導してもらっています。残菜ゼロの日はシールを貼ってグラフにし、児童に達成度を見えるようにする取り組みも行なっています。

昨年度、最も食べ残しが少なかった4年生は、給食のあった179日のうち149日が残菜ゼロでした。



学校における「食育」

食の重要性

食事することの大切さや喜び、楽しさを理解する

心身の健康

成長や健康のために望ましい栄養や食事のとり方を理解し、管理する能力を身に付ける



感謝の心

食物を大切にし、生産などに関わる人たちに感謝する心を持つ

▲三原市の食育推進キャラクター「そだっち」家族

食文化

地域の産物、食文化や食に関わる歴史などを理解し、尊重する心を持つ

食品を選ぶ力

正しい知識と情報に基づき、食物の品質や安全性などを判断する能力を身に付ける

社会性

食事のマナーや食事を通じて人間関係をつくる能力を身に付ける



沼北小学校6年
すがはらしょう ま
菅原昇真君

苦手だった野菜を好きになった

トマトとゴーヤが苦手だったけど、給食で残さず食べているうちに好きになりました。栄養士の先生に、調理員さんが大きなしゃもじで給食を作っている写真を見せてもらって、大変さが分かりました。僕たちのために苦労してくださっているの、毎日残さず食べたいです。



保護者(中之町小学校)
たにもと ち え こ
谷本 智恵子さん

試食した給食は、季節感のある献立で三原の特産物も使っており、味も美味しかったです。家庭では毎食、栄養バランスの整った食事を準備するのは難しいです。子どもが給食でこれだけバランスのとれた食事をしていると知って、安心しました。

考えられた献立と味に安心しました



▲普段、子どもたちが食べている給食を保護者も体験しました(中之町小学校)

保護者の皆さんに
給食への理解を

小学校の給食試食会

市内の小学校では、保護者の皆さんに給食への理解を深めてもらうため、試食会を開いています。

普段、子どもたちが食べている給食の献立がどんな考えに基づいて作られているか、調理場でどのように作られているのかなどをお知らせし、実際に給食を食べてもらっています。

先月18日には中之町小学校で、1年生の保護者を対象とした試食会がありました。参加した約20人の保護者は、給食を食べ、子どもの給食のようすを参観した後、栄養教諭から子どもに望ましい食生活や調理場の紹介、給食の栄養バランスなどについて話を聞きました。

給食をおいしく、楽しくするための取り組み

①校内放送

給食の時間に合わせ、各学校の子どもたちがその日の献立にまつわる話や栄養素について、元氣よく放送しています。

②ランチルーム

一部の学校ではランチルームを設置し、異なる学年が一緒に給食を食べるなどして交流しています。

③給食だよりなどの発行

給食だよりや三原の特産物や栄養素

夏休みに給食のメニューを考えてみよう!

〇 バランス給食メニューコンテスト

市では、小学5・6年生と中学生を対象に、三原の地場産物を使って栄養の整った給食の献立を考えてもらうバランス給食メニューのコンテストを実施しています。

目的は、子どもたちが「食」について関心を持ち、知識と選択する力を身に付けてもらうこと。市の特産物を知り、地域への愛着や地産地消への関心を育むことなどもねらいです。

募集する部門は、小・中学校それぞれのごはん・パン・めん部門。6月末に各学校を通じて応募用紙を配布し、主に

夏休みの課題として取り組んでもらいます。優秀作品を11月の生涯学習フェスティバルで表彰する予定です。

◎ 学校教育課(☎0848・676155)



▲カレンダーで優秀作品を紹介



について説明する資料などを配布し、食を通じて楽しく学べる取り組みを行っています。

▲三原の特産物を紹介する資料

合併10周年記念式典を開催 公式キャラクターも初披露



▲合併10周年の喜びと新たな決意を語る
天満市長

市は4月29日、合併10周年記念式典を芸術文化センターポポロで開きました。冒頭、天満祥典市長は「市内外に魅力発信し、元気都市みはらをめざして市民の皆さんと取り組んでいきたい」とあいさつ。功労者表彰では、産業や社会福祉、医療分野などで功績のあった86人を表彰しました。

三原小学校の児童が世界平和を願って描いた絵が披露された後、合併した平成17年3月生まれで西小学校5年の澁谷優太君、沼田東小学校5年の岸田琉璃さんが作文を読み、宇宙研究者と菓子職人をめざす夢を発表しました。

市初の公式マスコットキャラクター「やっさだるマン」が考案者の福永智彦さんとともに初登場。福永さんは「縁起が良いだるまとやっさの組み合わせで

三原がハッピーになってほしい」と話しました。やっさだるマンは今後、平成29年に向けて推進中の瀬戸内三原築城450年事業のPRなどで活躍する予定です。

やっさ踊り、やっさ太鼓、宮浦中学校吹奏楽部の演奏も披露され、会場を盛り上げました。



▲市初の公式マスコットキャラクター「やっさだるマン」が披露されました

総務広報課

☎0848・67・6006

大人への入門式を開催

市は4月24日、市内中学校の新1年生約890人を一堂に集め、「大人への入門式」を芸術文化センターポポロで開催しました。中学校入学を機に、大人になる自覚を持って学校生活を送ってもらおうのがねらいです。

「夢との出会い」をテーマに宇宙航空研究開発機構名誉教授の川泰宣さんが講演し、自身が宇宙に興味を持ったきっかけや研究者としてのやりがいを紹介。「夢を持って大人になってほし



▲市内中学校の1年生が参加しました

い」と将来の目標を持つて生活することの大切さを伝えました。

音楽や本に親しむことで人生を豊かにしてほしいと、音楽演奏や学校図書館司書による本の紹介や朗読も行なわれました。生徒代表であいさつした第一中学校の河井浩太郎君は「多くの人々に支えられてこの日を迎えることができました。大人への第一歩として、人や故郷の役に立てるよう努力したい」と決意を語りました。

学校教育課

☎0848・67・6155

佐木島に地域おこし協力隊員が着任

市は先月13日、佐木島(鷺浦町)で活動する地域おこし協力隊員に東郷晶子さんを委嘱し、東郷さんは同日から活動を開始しました。

天満祥典市長から委嘱状を手渡され

た東郷さんは、「これまで海外で地域医療に携わってきた経験を生かしたい。島の人にいろいろ教えてもらいながら、地域の活性化に役立てれば」と意気込みを語り、天満市長も「力を存分に発揮して、佐木島をさらに元気にしてほしい」と激励しました。

東郷さんは委嘱を受ける直前までカンボジアに在住。平成8年からNGO団体や日本大使館の調査員としてカンボジアの復興支援活動に関わったほか、医療機関でサポート業務などを行ってきました。

今後は、市2人目の地域おこし協力隊員として、佐木島の町内会や住民生活動団体に加わり、グリーンツーリズムによる観光交流や誘客活動、地域資源を活用した体験メニューづくり、島を訪れた人へのおもてなし、情報発信などを手掛けていきます。



▲天満市長と笑顔で握手する地域おこし協力隊員の東郷晶子さん

地域調整課

☎0848・67・6184



市議会定例会会議日程

次の日程で、6月定例会が開催されます。

傍聴は会議当日、議会事務局で受け付けます。

定員 本会議 45人

各委員会 5人程度

と き	内 容
6月19日(金)	本会議:開会
23日(火)	本会議:一般質問
24日(水)	本会議:一般質問予備日
25日(木)	10時～
26日(金)	常任委員会
29日(月)	補正予算特別委員会
30日(火)	7月1日(水)
3日(金)	14時～ 本会議:閉会

※日程は変更になる場合があります。

議会事務局

☎0848・67・6137

副議長



すえのりあき 陶 範昭さん

平成17年4月当選以来3期目。建設都市委員会委員長、生活経済委員会委員長、経済建設委員会委員長などを歴任。59歳。高坂町許山。

議長



うめもとひであき 梅本秀明さん

平成17年4月当選以来3期目。副議長、決算特別委員会委員長、議会運営委員会委員長、予算特別委員会委員長などを歴任。70歳。本郷南六丁目。

平成27年第2回市議会臨時会が5月12日に開かれ、議長と副議長の選挙、各常任委員会の選任などが行なわれました。新しい議長と副議長、各常任委員、議会運営委員は、次のとおりです。

総務財務委員会	
○中村芳雄	岡本純祥
○岡富雄	分野達見
正田洋一	寺田元子
安藤志保	力田忠七
萩由美子	経済建設委員会
徳重政時	○政平智春
伊藤勝也	○亀山弘道
松浦良一	新元昭
仁ノ岡範之	高木武子
厚生文教委員会	加村博志
○七川義明	谷杉義隆
○児玉敬三	荒井静彦
平本英司	小西真人
陶 範昭	議会運営委員会
中重伸夫	○谷杉義隆
	○小西真人

伊藤勝也
政平智春
高木武子
中重伸夫
荒井静彦
仁ノ岡範之
※◎は委員長、○は副委員長。

正・副議長、各常任委員が決定

必ず受けましょう！浄化槽の法定検査

トイレの排水や生活雑排水をきれいにする浄化槽は、正しく使用しないと悪臭や環境汚染につながります。浄化槽の機能を適正に保つため、浄化槽を管理(設置)している人は、浄化槽法により次のことが義務付けられています。

①保守点検

浄化槽を正しく機能させ、良好な状態を維持するため、県の登録を受けた業者へ定期的に保守点検を依頼してください。

②清掃

市の許可を受けた清掃業者に浄化槽の清掃を依頼してください。清掃は毎年1回、全ばつ気方式は6カ月に1回以上行なってください。

※点検と清掃の回数は浄化槽によって異なります。

※点検と清掃の記録を3年間保存してください。

③法定検査

県が指定した検査機関で、表1のとおり検査を行ってください。

※検査員は身分証明証を携行しています。指定検査機関を装った詐欺に注意してください。

●浄化槽の設置・廃止などの手続き

浄化槽を設置・廃止または管理者を変更したときには、生活環境課で手

表1

検査名	対象	回数	指定検査機関
設置後の検査(7条検査)	新たに浄化槽を設置した人	初回のみ	広島県環境保全センター(☎082・849・6411)
	11人槽以上	毎年1回 5年に1回	
定期検査(11条検査)	10人槽以下	5年に4回	広島県浄化槽維持管理協会(☎082・546・2168)

続きをしてください。建築確認申請を伴う設置の場合は、建築指導課(円一町庁舎1階)で手続きしてください。

●小型浄化槽設置補助の手続き

10人槽以下の小型浄化槽を設置する場合、補助制度があります。詳しくは生活環境課へ問い合わせてください。

大和地域には、市が浄化槽を設置する制度があります。詳しくは大和支所地域振興課(☎0847・33・0229)へ問い合わせてください。

生活環境課

☎0848・67・6168



プレミアム付き商品券を 発行します

地域の消費拡大と商工業者の販売促進のため、市は1万円(1冊)で1万2千円分の買い物ができるプレミアム付き商品券の発行を支援します。商品券は商工会議所と臨空商工会が発行し、7月からそれぞれの管内地域で使用できます。

商品券名

三原地域 三原うきしろ商品券(商工会議所発行、50,440冊)

本郷・久井・大和地域 臨空プレミアム商品券(臨空商工会発行、14,560冊)

販売方法

引き換え販売(要申し込み)

1. 6月15日(月)(必着)までに、往復はがきで①希望冊数②氏名③住所④電話番号を商工会議所または臨空商工会へ

- ※返信用の表面には①郵便番号・住所②名前を記入してください。
2. 返信されたはがきを持参し、6月25日(木)～30日(火)に商工会議所または臨空商工会で引き換え

※申し込みは、1人のがき1枚5冊までです。

店頭販売(7月1日) 商工会議所や



▲三原うきしろ商品券
(商工会議所発行)

▲臨空プレミアム商品券
(臨空商工会発行)

臨空商工会などで販売

※1人5冊までです。

※引き換え販売で商品券が完売した場合、店頭販売は行われません。

※販売方法など、詳しくは新聞折込チラシ、市・商工会議所・臨空商工会ホームページで確認できます。

申し込み・問い合わせ先

商工会議所(〒723-8555 皆実四丁目8番1号 ☎0848・62・6155)

臨空商工会(〒729-0417 本郷南六丁目3番26号 ☎0848・86・2238)

介護保険制度が変わります

平成27年4月から

●特別養護老人ホームの入所基準が変わりました

特別養護老人ホームの新規入所は、原則として要介護3以上の人が対象となりました。

平成27年8月から

●一定以上の所得がある人の利用者負担が変わります

65歳以上で本人合計所得金額が160万円以上の人は、介護保険サービスの利用者負担が2割になります。

※7月末までに介護保険の認定がある人に負担割合(1割または2割)が記載された「介護保険負担割合証」を送付します。

●低所得の施設等利用者が負担する食

費・居住費の軽減の適用条件が変わります

低所得の利用者のうち、配偶者が住民税課税者である場合、または預金額などが1,000万円を超える場合は、食費・居住費の軽減がなくなります。

●高額介護サービス費の上限額が一部変わります

医療保険の現役並み所得相当の人は、世帯負担の上限額を引き上げます。※現役並み所得相当とは、同一世帯に課税所得145万円以上の人がいて、年収が単身者で383万円以上、2人以上で520万円以上のこと。

「三原さんぽde幸福女子」が放送中



おいしくて思わず笑顔になるグルメ、ドライブなどで立ち寄りたい観光スポットやカフェ、思わず写真を撮りたくなる景色。若い女性が三原を旅しながら、女性が幸福になれる三原の魅力を紹介していくテレビ番組「三原さんぽde幸福女子」が放送されています。番組ホームページも公開中です。ぜひご覧ください。

放送日時 毎週木曜日23時10分～23時15分
放送局 広島ホームテレビ

問 観光課 ☎0848・67・6015

問 高齢者福祉課

☎0848・67・6240

第12回みはら環境写真・絵画コンテストの作品を募集

自然環境や環境保全などについて伝えたいメッセージを写真、絵画にして応募してください。

テーマ 自然環境や生き物、環境保全、マナー向上に関すること

部門・規格

▼写真部門 カラープリント2L判以上、4切判またはワイド4切判

▼絵画部門 4切または8切の画用紙

※作品は、未発表のものに限ります。応募点数に制限はありません。

賞 特選(4点)：賞金(1万円)、賞状

入選(8点)：図書カード(5千円

分)、賞状

特別賞：賞品(5千円相当)、賞状

審査・発表 9月下旬

みはら緑のカーテンコンテストの作品募集

個人や団体が設置した「緑のカーテン」のコンテストを開催します。

賞 最優秀賞(1人)、優秀賞(3人)

申し込み 9月11日(金)(必着)まで

に、持参、郵送またはEメールで裏

面に①住所②氏名③連絡先④ひとこ

とコメント(希望者のみ)を記入した

写真をみはらし環境会議事務局(市

役所本庁4階、生活環境課内〒723-8601

申し込み 9月11日(金)(必着)まで

に、持参または郵送で作品と応募票

(生活環境課、市ホームページに用

意)を生活環境課(市役所本庁4階〒

723-8601港町三丁目5番1号 ☎084

8・67・6194)へ

▲昨年度の特選作品

「みんなで守ろう三原の自然」
藤岡 李々彩さん



港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6194 ☓seikatsukankyo@city.

mihara.hiro

shima.jp) <



▲昨年度の最優秀賞
千坊 可奈男さん

新庁舎建設基本計画のパブリックコメント(市民意見公募)

意見を募集する計画 新庁舎建設基本計画

計画の概要 新庁舎を現在地に建設するに当たり、基本となる考え方や導入する機能、新庁舎の規模などをまとめたもので、今後の設計の指針となる計画

計画の公表と意見の提出期間 17日(水)まで

計画の公表場所 総務広報課、各支所、情報公開コーナー(市役所本庁3階)、市ホームページ

意見を提出できる人 市内に在住・在勤・在学の人、または事業所がある個人・法人

意見の提出方法 持参、郵送、ファクスまたはEメールで意見書(各公表場所、市ホームページに用意)を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6022 ☓0848・67・4984 ☓somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)、または各支所へ

※意見に対する個別の回答は行いません。市ホームページなどで、提出された意見と市の考え方をまとめて公表します。

☎総務広報課 ☎0848・67・6022

乳幼児等医療費を中学生まで助成します

7月から、乳幼児等医療費の助成対象年齢を中学校卒業(15歳に到達後の最初の3月31日)までに延長します。

対象となる可能性のある中学1～3年生の保護者には先月末に申請書を郵送しましたので、6月中に申請してください。

○申請に必要な物

・助成対象の子の健康保険証

・保護者の所得証明書

※三原市の課税台帳や提出済の所得証明書で、所得を確認できない場合のみ。

○申請窓口

市民ロビー特設窓口(市役所本庁1階)、各支所地域振興課

※7月1日以降に申請した場合は、有効期間は申請日からになります。

※ひとり親家庭等医療費、重度心身障害者医療費、生活保護の受給対象となっている子は対象になりません。

※所得が制限額を超えている場合は受給できません。

☎子育て支援課 ☎0848・67・6045



第1講座

7月14日(火)
19時～20時30分

講師 青山学院大学陸上
競技部監督 原 晋さん
(糸崎出身)

演題 箱根駅伝から学ぶ育成術～「魔法をかける」箱根駅伝制覇までの4,000日～

紹介 中学から陸上を始め、世羅高校、中京大学へと進学。卒業後、中国電力に入社し、陸上競技部1期生として部創設に参加。平成5年には主将として全日本実業団駅伝初出場に貢献。平成7年に引退後、10年間、中国電力でサラリーマン生活を送る。平成16年、青山学院大学陸上競技部監督に就任。平成21年に33年ぶりの箱根駅伝出場を果たし、今年の第91回大会では初の総合優勝へと導いた。



生涯学習課

0848・64・2137

ところ リージョンプラザ文化ホール
定員 400人(申し込み先着順)
※未就学児の入場はできません。
受講料 前売り券1,000円(全3講座)、
当日券500円(1講座)
※前売り券は全3講座分のみ、当日券は開演時に空席がある場合のみ販売します。
申し込み 申込用紙(販売場所に用意)に、受講料を添えて各販売場所へ
販売場所 中央公民館、本郷生涯学習センター、
くい文化センター、大和文化センター

第2講座

7月23日(木)
19時～20時30分

講師 野球評論家 村田兆治
さん(名誉市民・本郷出身)

演題 人生先発完投

紹介 再起不能とまでいわれた故障から、奇跡的に復帰して通算215勝をあげ、平成元年に日本プロ野球名球界入りを果たした。平成2年の引退後は野球評論家となり、平成17年には野球殿堂入り。現在、講演活動に取り組むかたわら、プロ野球選手OBで構成された「まさかりドリームス」の監督として、全国の離島を巡って少年野球教室を開催している。野球を通じて次世代を担う人材育成に尽力している。



第3講座

9月4日(金)
19時～20時30分

講師 日本体育大学名誉教授
池田敬子さん(名誉市民・鷺浦出身)

演題 私を育ててくれた三原～スポーツと心の健康～

紹介 三原高校で本格的に体操を始め、昭和27年に日本体育大学に女子1期生として入学。初出場の昭和29年世界選手権では金メダルを獲得し、女子体操競技の先駆者となった。昭和39年、東京オリンピックの女子団体で銅メダルを獲得。オリンピック3大会、世界選手権4大会に出場。引退後は全日本ジュニア体操クラブ連盟を設立するなど選手育成に尽力し、平成14年には日本女性で初めて国際体操殿堂入りを果たした。



合併10周年記念事業 生涯学習市民講座を開催

夏季水泳教室の受講生を募集

申し込み 12日(金)(必着)までに、往復はがき(1枚につき1人1教室)で①教室番号・教室名②名前(ふりがな)③性別④生年月日⑤郵便番号・住所⑥電話番号⑦緊急連絡先⑧保護者の名前⑨通学先(市外在住の場合)をスポーツ振興課(〒723-0014城町一丁目2番1号 ☎0848・64・7219)へ

※返信用の表面には①郵便番号・住所②名前を記入してください。

※申し込み多数の場合、4月開講の水泳教室を受講していない人を優先して抽選します。

教室番号	教室名 対象	とき	ところ	回数	定員	受講料
71	水泳 4歳児	7/27(月)～8/24(月) の月・水・金	リージョン プラザ 温水プール	各12回	各30人	各4,500円 + 保険料800円 ※保険料は、今年 度のスポーツ教室 の受講者は必要 ありません。
72	水泳 5歳児					
73	小学1～2年生					
74	小学3～6年生					
75	小学1～2年生	7/28(火)～8/25(火) の火・木・土	久井B&G 海洋センター			
76	小学3～6年生					

※4歳児は平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれ、5歳児は平成21年4月2日～平成22年4月1日生まれ。



第40回 三原やっさ祭り

8月7日(金)・8日(土)・9日(日)



▲今年度のミスやっさに選ばれた
うすもと あおい 三原さん(左)と大久保 真菜さん

運営ボランティア 「やっさポ」を募集

内容 踊りコース整理・ステーション進行補助・グッズや飲食物の販売など

※後日、説明会を開催します。



ゴミへらし隊エコレン ジャースタッフを募集

内容 ごみ減量のための企画・準備

※祭り当日まで月2回



人にやさしい祭り 委員会の参加者

子どもから高齢者まで、障害の有無に関わらず祭りを楽しみたい人やボランティアをしたい人を募集します。

内容 ①踊りへの参加 8月8日(土) ②花火見物 8月9日(日) ③人にやさしい観覧席での観覧 8月7日(金)・8日(土)

参加費 ①700円 ②400円 ③無料

※7月11日(土)・26日(日)13時～16時に研修・交流会を開催します。

申し込み先 人にやさしい祭り委員会・ボランティア・市民活動サポートセンター内

☎0848・67・9339 FAX 0848・63・0596

haravs-c@m-shakyo.jp

やっさ教室

参加費無料

☎観光課 ☎0848・67・6014

生涯学習出前講座

1日で踊れる やっさ踊り教室

派遣された指導員がやっさ踊りの指導をします。

対象 10人以上の団体(1回2時間以内)

※講師の派遣は、1団体につき2回まで。

申し込み 希望日の2週間前までに観光課へ

やっさ地方教室

とき 6月4日(木)～7月30日(木)の毎週木曜日18時30分～20時30分

ところ 中央公民館

※希望者は直接、会場へ。

内容 唄、三味線、太鼓、笛、かねの指導

やっさ踊り公開練習

やっさ踊りの普及と保存に努めている三原やっさ踊り振興協議会の練習を公開します。練習への参加も自由です。

とき 6月9日(火)18時30分～20時30分

ところ 市民ギャラリー(ペアシティ三原西館2階)

※希望者は直接、会場へ。

宇宙の学校の参加者

①6月28日(日) ②7月26日(日) ③11月8日(日)
いずれも13時～16時

ところ 久井保健福祉センター

内容 ①開校式、講演(JAXA宇宙航空研究開発機構名誉教授 的川泰宣さん)、分光器を作ろう②光と色の不思議な世界を感じよう③熱気球を飛ばそう、閉校式
※各回とも終了後、宇根山天文台で星の観測ができます。

対象 市内在住の小学3～6年生と保護者で、全3回に参加できる人

定員 30組(多数の場合、抽選)

参加費 1,500円(全3回分)

申し込み 6月12日(金)(必着)までに、往復はがきで①住所②児童と保護者の名前(ふりがな)③学校名④学年⑤性別⑥電話番号を生涯学習課(〒723-0015 一町二丁目3番1号 ☎0848・64・2137)へ

三原10名山 登山ツアー第2弾の参加者 ～鉢ヶ峰登山コース～

14日(日)9時～※雨天中止。

ところ 集合:隆景広場(JR三原駅西口)

コース 奥ノ院→鉢ヶ峰→太平山→道の駅「みはら神明の里」→JR糸崎駅(解散)

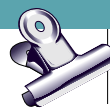
※現地までは貸切バスを利用。

定員 40人(申し込み先着順)

参加費 2,000円

※バス代・保険料・昼食代・登山ガイド料などを含む。

申し込み 10日(水)までにうきしろロビー(☎0848・67・5877)へ



市職員を募集します

試験日・場所

▼第1次試験 7月26日

(日)中央公民館

▼第2次試験 8月16日

(日)市役所本庁

▼第3次試験 9月13日

(日)市役所本庁

受付期間 6月24日(水)

まで(消印有効)

申込書の請求・提出先

三原市試験委員会(職

員課内〒723-8601 港町三丁

目5番1号)

※郵便で請求する場合は、

宛て先と希望職種を記入

し、140円切手を貼っ

た返信用封筒(33cm×24

cm以上の大きさ)を同封

してください。

※市ホームページに試験

要項と申込書を用意して

います。

☎職員課(市役所本庁

3階)

☎0848・67・6025

職種(試験区分)		採用予定数	受験資格(年齢は来年4月1日現在)	採用予定日
①	一般事務職(上級)	5人程度	平成2年4月2日～平成6年4月1日生まれの人(22歳～25歳)	来年 4月1日
②	土木技術職(上級)	若干名	平成2年4月2日～平成6年4月1日生まれの人(22歳～25歳)	
③	土木技術職(中級)	若干名	平成6年4月2日～平成8年4月1日生まれの人(20歳～21歳)	
④	建築技術職(上級)	若干名	平成2年4月2日～平成6年4月1日生まれの人(22歳～25歳)	
⑤	設備技術職(上級)	若干名	平成2年4月2日～平成6年4月1日生まれの人(22歳～25歳)	

※今回の試験(a日程)のほか、10月18日(日)を第1次試験日とする試験(b日程)では、一般事務職(上級、初級、身体障害者)、保育士・幼稚園教諭職、消防士職を募集します。詳しくは、広報みはら9月号でお知らせします。

※一般事務職(上級)は、a日程またはb日程の1回のみ受験することができます。

私立幼稚園の授業料を補助します

申請期間 5日(金)まで9時～17時

申請場所 リージョンプラザ南館

対 象 次の①②の両方に該当する世帯

①市内に住民登録している

②私立幼稚園に3～5歳児(平成21年4月2日～平成24年4月1日生まれ)が通園している

※今年度中に3歳になる幼児も含みます。

※市外の子ども・子育て新制度に移行していない私立幼稚園も含みます。

補助額 表1の該当する世帯区分に応じた補助限度額を上限とする額

用意する物 印鑑

※平成27年1月2日以降に転入した人は、転入前の市町村の平成27年度課税証明書の提出が必要です。

☎教育振興課 ☎0848・67・6151
または、
通園している園へ

表1

世 帯 区 分	補 助 限 度 額 (年 額)		
	1人目	2人目	3人目～
生活保護の世帯	308,000円	308,000円	308,000円
市民税が非課税の世帯	272,200円	290,000円	
市民税所得割が非課税の世帯			
市民税所得割の課税額が77,100円以下の世帯	115,200円	211,000円	
市民税所得割の課税額が211,200円以下の世帯	62,200円	185,000円	
上記区分以外の世帯		154,000円	

※所得割課税額の上限値、補助限度額は世帯の構成により異なります。

※補助限度額は補助の上限額で、この額がそのまま支給されるわけではありません。

郵便はがき

料金受取人払郵便

三原郵便局
承認

33

差出有効期間
平成28年5月
31日まで

(切手を貼らずに
出してください)

7238790
133

市民の声
係
行

三原市港町三丁目5番1号
三原市総務広報課内

切り取り線

問い合わせ先

市民の声

—あなたの意見を聴かせてください—



市政に関する意見や要望
など、あなたの声を寄せて
ください。

市民の皆さんと行政が一
体となって、まちづくりを
進めていきましょう。

※切り取り線に沿って切り取り、切手
を貼らずに郵便ポストに入れてくださ
い。
※左の郵便番号は、このはがき専用の
ものです。

郵便はがき

料金受取人払郵便

三原郵便局
承認

33

差出有効期間
平成28年5月
31日まで

(切手を貼らずに
出してください)

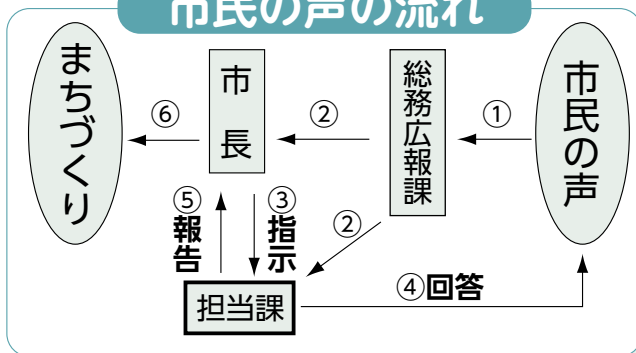
7238790
133

市民の声
係
行

三原市港町三丁目5番1号
三原市総務広報課内

切り取り線

市民の声の流れ



できるだけ住所・名前・電話番号を記入してくださ
い。ファクスやEメール、市ホームページでも受け
付けます。

総務広報課

☎0848・67・6007 FAX0848・67・4984

✉info@city.mihara.hiroshima.jp

芸術文化センター ポポロ

レニ阿斯設立40周年記念 ロシア国立交響楽団

7月25日(土) 15時～

入場券販売中

内 容 最もロシア的な最後のオーケストラ、23年ぶり待望の来日。ロシアを代表する作曲家チャイコフスキーの作品によるプログラム

予定曲 チャイコフスキー／スラブ行進曲作品31、ピアノ協奏曲第1番変ロ短調作品23、交響曲第6番ロ短調作品74「悲愴」

出 演 ロシア国立交響楽団、バレリー・ポリャンスキー(指揮)、及川浩治(ピアノ)

入場料 S席9,000円、A席7,000円、B席5,000円
※A・B席の販売はポポロ、ポポロオンラインのみ。

※未就学児の入場はできません。

入場券販売場所 ポポロ、ポポロオンライン、うきしろロビー、フジグラン三原 ほか



▲ロシア国立交響楽団

ブルガリア国立歌劇場 プッチーニ歌劇「トゥーランドット」プレ・レクチャー はじめてのオペラ トゥーランドットの見どころ聴きどころ

7月12日(日) 14時～16時

入場料無料
要整理券

内 容 オペラ「トゥーランドット」の解説など

講 師 横浜国立大学教授 小宮正安さん

整理券配布場所 ポポロ(6月20日から配布)

▲小宮正安さん



ブルガリア国立歌劇場 「トゥーランドット」(字幕付原語上演)

10月18日(日) 18時～

内 容 三原初の海外オペラ公演。オペラ・アリア人気NO. 1の「誰も寝てはならぬ」は必聴

出 演 ブルガリア国立歌劇場管弦楽団、合唱団

入場料 SS席18,000円、S席15,000円、A席 11,000円、B席7,000円

※未就学児の入場はできません。

入場券販売場所 ポポロ、ポポロオンライン(6月27日から一般販売)

☎芸術文化センター ポポロ(☎0848・81・0886)

切り取り線

切り取り線

切り取り線

リージョンプラザ

映画のつどい

12日(金)①10時30分
～②14時～③18時30分～

27日(土)①10時30分
～②14時～③18時30分～

駆込み女と駆出し男



特別劇場

アゲイン 28年目の甲子園



特別劇場

入場料 1,800円(1,500円)、大学生1,500円(1,300円)、3歳～高校生1,000円(800円)、60歳以上1,100円、どちらかが50歳以上の夫婦 2人で2,200円

※()内は割引券持参の場合。

※「駆込み女と駆出し男」は前売り券1,100円あり。

※障害者手帳を提示した人は1,000円。

前売り券販売場所 リージョンプラザ・ポポロ・フジグラン三原・うきしろロビー

割引券設置場所 リージョンプラザ・ポポロ・フジグラン三原・うきしろロビー・中央図書館・中央公民館・各文化センター

パソコン・インターネット教室

6月開講 ①水曜教室(第2・4水曜日)13時30分～15時30分(月2回) ②木曜教室(第2・4木曜日)13時30分～15時30分

ところ 南館 会議室

内容 インターネットの使い方や生活への取り入れ方などを学べる初心者向け講座

講師 篠崎初光さん

定員 各6人(申し込み先着順)

参加費 月額5,000円

用意する物 ノートパソコン

申し込み リージョンプラザへ



絵本づくり教室

7月開講 ①水曜教室 13時～15時30分(月4回) ②土曜(午前)教室 9時30分～12時 ③土曜(午後)教室 13時～15時30分

ところ 練習室

内容 絵本「きこえる？」で世界的に権威のあるブラチスラバ世界絵本原画展の準グランプリを受賞した講師による絵本の制作講座

講師 はいじま のぶひこ さん

対象 小学4年生以上

定員 各8人(申し込み先着順)

参加費 月額8,000円

申し込み リージョンプラザへ



▲絵本「きこえる？」

☎リージョンプラザ(☎0848・64・7555)

水道週間イベント

西野浄水場の開放

6日(土)9時～16時※受け付けは15時まで。

1日(月)～7日(日)の水道週間にあわせ、西野浄水場を開放します。イベントを楽しみながら、水のできる仕組みを学びませんか。

ところ 西野浄水場(西野五丁目)

内容 施設見学、ろ過砂の配布、風船つり、わた菓子づくり、お菓子のつかみどりなど

※場内の憩いの広場では、持参した弁当を食べることができます。



▲水道部マスコットキャラクター「ミズーと仲間たち」

☎水道部管理課(☎0848・64・2297)

県内の観光情報

ゆかたできん祭2015

5日(金)～7日(日)13時～22時※5日(金)は17時から。

ところ 広島市中心部一帯(中央通りなど)

内容 「ゆかた」がテーマの祭り。中央通りを歩行者天国にして実施する「ゆかたで踊りんさい」など、ゆかたを楽しむさまざまなイベントを実施

☎ゆかたできん祭実行委員会(☎082・245・1448)

三原駅前市民広場のイベント

6日(土)・7日(日)9時～ こっとう 骨董市&フリーマーケット

13日(土)8時～11時 軽トラ朝市

内容 市内業者が生産・加工した農水産物の販売

21日(日)10時～17時 POWER UPフェスタ in 三原 スタジオ来夢夏の陣

内容 ダンスショー、露店での飲食物の販売、ゲーム

☎商工会議所(☎0848・62・6155)

生活情報 掲示板

三原港が便利になりました

●三原港のビジターバースに船舶用の電力供給設備と給水設備を設置しました

●港湾ビル1階の洋式トイレには温水便座を設置し、多目的トイレは全面改修して、オストメイト用簡易洗浄機などを設置しました

問い合わせ先 港湾課 ☎0848・67・6108

7日(日)～13日(土) 危険物安全週間

危険物施設では、法定検査に加え、日常の自主点検を実施しましょう。

一般家庭でも、ガソリン、軽油、重油、灯油などの安全な保管・使用を心掛けましょう。

問い合わせ先 消防本部予防課 ☎0848・64・5927

明かりを消して 地球にやさしい生活を

市庁舎などの公共施設も、市民の皆さんに支障のない範囲でライトダウンを実施します。



とき ①6月22日(月)夏至の日20時～22時②7月7日(火)七夕の日20時～22時

問い合わせ先 生活環境課 ☎0848・67・6194

かんきょう会議浮城 廃油石鹸作りと食の話

とき 23日(火)13時30分～14時30分

ところ 中央公民館

内容 廃油を使った石鹸作り
定員 15人(申し込み先着順)
用意する物 軍手かゴム手袋、マスク、牛乳パック1個、汚れてもよい長袖の服

申し込み先 生活環境課 ☎0848・67・6194

久井町の一部の山地 番を変更します

広島法務局では、山地番と耕地番の重複を解消するため、一部の山地番を変更します。

日曜日に健診を 受けることができます

とき 6月14日(日)、7月12日(日)、8月23日(日)、9月13日(日)、10月18日(日)、11月15日(日)、12月13日(日)、来年1月17日(日)、2月21日(日)、3月13日(日)

受付時間 8時30分～9時

ところ・申し込み先 三原市医師会病院(宮浦一丁目 ☎0848・67・7030)

定員 各30人(申し込み先着順)

内容 基本健康診査、特定健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検診

料金 検査により異なる

※市民税非課税世帯、生活保護世帯の人は、料金が免除になる検査があります。事前に保健福祉課、各保健福祉センターで手続きをしてください。

問い合わせ先 保健福祉課 ☎0848・67・6053

催し

地元ガイドとまち歩き

とき 毎週土曜日10時30分～12時
ところ 集合：うきしろロビー

(JR三原駅構内)

内容 三原城天主台、一番櫓な

対象 久井町の一部(坂井原、小林、山中野、土取)

変更内容 原則、地番に10000を加算(例：211番→10211番)

0211番)

※変更の場合、登記簿上の所有者宛に通知書を送付します。

※変更前の地番を住所としている場合、変更後の地番が新しい住所になります。

問い合わせ先 広島法務局 ☎082・228・5741

だるま制作体験

とき ①月・木曜日13時～16時
②土曜日10時～12時

ところ 三原だるま工房(港町一丁目)

内容 土台作りから面相描き※面相描きのみも可能。

参加費 各500円

申し込み先 三原観光協会 ☎0848・67・5877

よってみんさい市民ギャラリー (ペパシティ三原西館2階)

○三原やっさ踊り振興協議会
公開練習

三景園花まつり

と き 6月13日(土)～7月
5日(日)9時～18時



期間中の行事

●特製弁当(2,200円1日50食限定)の販売

●和菓子付き抹茶サービス

対 象 ①浴衣・着物で来場した人②日曜
日に来場した人(抽選)

●写真教室

と き 21日(日)9時30分～13時

参加費 2,000円

※入園料・昼食代を含む

申し込み 18日(木)までに三景園へ

●ハワイアンショー

と き 21日(日)11時～、14時～

入園料 高校生以上310円、小・中学生160
円

※保護者同伴で高校生まで無料。

問い合わせ先 三景園管理事務所(☎0848・
86・9200)

地域の住民、関係団体などと
清掃活動を実施します。
とき 14日(日)8時30分～
※久井地域は8時から。

空き缶等散乱 ごみ追放キャンペーン

○中学校教科書の展示会
とき 6月22日(月)～7月2日(木)
問い合わせ先 学校教育課(☎
0848・67・6155)

とき 9日(火)18時30分～
○直美の部屋コンサート
山下雅也と富永やよい
サクソホンとピアノの演奏
とき 17日(水)14時～
問い合わせ先 文化課(☎08
48・64・9234)

※少雨決行。

ところ 三原地域Ⅱ

国道185号(三菱

和田沖グラウンド

入口・幸崎・竹原市

境、本郷地域Ⅱ本郷支所周

辺の主要道路、久井地域Ⅱ中

野地区の主要道路、大和地域

Ⅱ大和支所周辺の主要道路

問い合わせ先 環境管理課(☎
0848・63・1210)

久井町内合同防災訓練

とき 14日(日)8時30分～12時

ところ 久井小・中学校

内容 土砂災害が発生し、避難

した想定での訓練と講演

問い合わせ先 久井支所地域振



みんなの男女共同参画講演会

興課(☎0847・327111)

とき 14日(日)13時30分～15時

ところ ゆめきやりあセンター

演題 「女性が輝く社会は誰に

も優しい社会」男女平等指数

104位の日本

で考える」

講師 船橋邦子さん

定員 150人(先着順)

問い合わせ先 人権推進課(☎
0848・67・6044)



文化協会歌謡祭

とき 21日(日)10時～

ところ リージョンプラザ

内容 会員による歌謡発表

問い合わせ先 文化課(☎08
48・64・9234)

青少年育成講演会

とき 21日(日)15時～16時30分

ところ 第五中学校

演題 フィギュアスケート、ち

よつといひ話!

講師 元フィギュア五輪選手

佐野 稔さん

定員 300人

参加費 無料

問い合わせ先 沼田東連合町内

会青少年育成部事務局(☎0

テニス講習会

848・66・0250)

とき 13日(土)9時30分～12時

※雨天中止。

ところ やまみ三原運動公園

対象 未経験者、初心者

定員 40人(申し込み先着順)

※ラケットの貸し出し可能。

参加費 300円

申し込み 11日(木)までに三原

市テニス協会 加藤さん(☎0
90・7592・0338)へ

障害者スポーツフェス ティバル(水泳大会)

とき 7月11日(土)9時30分～

ところ リージョンプラザ

内容 水中ゲーム、水泳記録会

対象 障害のある人と家族

申し込み 26日(金)までにみは

らスイミー 下中さん(☎09
0・9509・2241)へ

ボランティア祭りin大和

とき 28日(日)9時30分～14時

ところ 大和保健福祉センター

内容 福祉体験・遊び・炊き出し

試食・講演会・パネル展示など

問い合わせ先 ボランティア・

市民活動サポートセンター

(☎0848・67・9339)

朗読ボランティア養成講座

とき 7月3日～来年2月12日
第1・3金曜日(全15回)18時
～20時

ところ サン・シープラザ4階
内容 朗読技術の習得と視覚障
害者に対する理解促進を図る

参加費 1,100円(保険料・
資料代として)

定員 30人(申し込み先着順)

申し込み 30日(火)までにボラ
ンティア・市民活動サポート
センター(☎0848・67・9
339)へ

社会福祉施設夏季体験学習

とき 7月27日(月)～8月21日
(金)の1～5日間

ところ 市内の社会福祉施設

対象 中高生

参加費 100円(保険料)

申し込み 30日(火)までに社会
福祉協議会(☎0848・63・
0570)へ

認知症の人と家族の会 広島県出前定例講座

とき 27日(土)13時30分～15時
30分

ところ サン・シープラザ4階
演題 地域で支えよう認知症

講師 西部地区包括支援セン
ター大空センター長 末国美
鈴さん

定員 70人

問い合わせ先 認知症の人と家
族の会(☎0848・68・07
09)

認知症予防教室

とき 7月13日(月)・24日(金)・
31日(金)、8月3日(月)・7
日(金)・10日(月)・17日(月)・
21日(金)13時30分～15時
ところ リージョンプラザ
演題 認知症は自分で防ぐ
～脳活に取り組もう～

講師 県立広島大学准教授 西
田征治さん

定員 20人(申し込み先着順)

申し込み先 高齢者福祉課(☎
0848・67・6055)

調理師試験

とき 8月20日(木)14時～16時
ところ 安田女子大学(広島市)

受付期間 8日(月)～19日(金)

※受験願書・案内は
保健福祉課(サン・
シープラザ3階)で
配布。



問い合わせ先 保健福祉課(☎
0848・67・6234)

募集

明るい選挙啓発ポスター

対象 小・中学生、高校生
画材・サイズ 画材は自由、画
用紙の4つ切判、8つ切判



▲昨年度の入賞作品

申し込み 9月11日(金)までに
選挙管理委員会事務局(☎0
848・67・6140)へ

市営住宅の入居者

受付日 11日(木)・12日(金)
受付場所 建築課(円一町庁舎
1階)

※資料の配布は、建築課、市民
課、各支所で1日(月)から。

※募集住宅や日程など、詳しく
は資料、ホームページに掲載。

問い合わせ先 建築課(☎08
48・67・6120)

県営住宅の入居者

受付日時 23日(火)～25日(木)
8時30分～17時

受付場所 堀田・誠和共同企業
体住宅管理センター(宮浦四

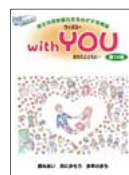
丁目)

※資料の配布は16日(火)から。
問い合わせ先 堀田・誠和共同
企業体住宅管理センター(☎
0848・61・2215)

男女共同参画情報誌 の編集委員

任期 2年間

内容 情報誌withYOU編
集



応募資格 市内
在住、または
通勤している20歳以上の人

定員 4人

申し込み 19日(金)(必着)まで
に応募用紙を人権推進課(☎
0848・67・6044)へ

介護認定調査員

任用期間 7月～来年3月

報酬(月額) 8,450円

勤務時間 週5日、1日5時間
50分

応募資格 7月1日現在65歳未
満で、介護支援専門員や保健
師などの資格を持っている人

定員 1人

応募方法 19日(金)までに履歴
書と資格を証明するものの写
しを高齢者福祉課(☎084
8・67・6240)へ

生涯学習講座

各講座は、申し込み先着順です。申し込み受け付けは、1日(月)10時からです。

講座名	と き	ところ	対象	定員	参加費	申込期限	申し込み先
カラダが喜ぶヘルシー献立	10日(水) 10時～13時	須波コミュニティセンター	大人	18人	900円	5日(金)まで	須波コミュニティセンター (☎0848・67・0512)
姿勢改善ピラティス	12日(金) 10時～11時30分	中央公民館	大人	25人	200円	10日(水)まで	中央公民館 (☎0848・64・2137)
アロマで認知症予防パートⅡ	12日(金) 10時～12時	中之町コミュニティセンター	大人	20人	1,100円	10日(水)まで	中之町コミュニティセンター (☎0848・64・4099)
20種のハーブを使ったリラックス手足浴	13日(土) 13時30分～15時	中之町コミュニティセンター	大人	15人	500円	11日(木)まで	中之町コミュニティセンター (☎0848・64・4099)
子どもおもしろ手芸教室	13日(土)、27日(土) それぞれ14時～16時	幸崎コミュニティセンター	小学生	各10人	350円/回	9日(火)まで	幸崎コミュニティセンター (☎0848・69・0001)
初めてのヨガ	16日(火) 10時～11時30分	船木コミュニティセンター	大人	30人	100円	10日(水)まで	船木コミュニティセンター (☎0848・86・6731)
オシャレなグラスコード(メガネチェーン)づくり	17日(水) 10時～11時30分	中央公民館	大人	15人	1,100円	15日(月)まで	中央公民館 (☎0848・64・2137)
キッズ イングリッシュ(全3回)	18日(木)、7月2日(木)、 16日(木)それぞれ16時～17時	沼田東コミュニティセンター	小学4～6年生	20人	100円	16日(火)まで	沼田東コミュニティセンター (☎0848・66・3179)
トールペイントに挑戦してみよう!	23日(火)13時30分～15時30分	久井南コミュニティセンター	大人	15人	600円	19日(金)まで	久井南コミュニティセンター (☎0847・32・6316)
アロマで脳活(のうかつ)体験講座	23日(火) 10時～11時30分	久井公民館	大人	15人	1,100円	15日(月)まで	久井公民館 (☎0847・32・7139)
生活に役立つ香りの講座	26日(金) 13時30分～15時30分	本郷生涯学習センター	大人	16人	1,000円	19日(金)まで	本郷生涯学習センター (☎0848・85・0701)
家庭でできるフランス料理パート3	30日(火) 9時30分～12時	神田公民館	大人	15人	1,300円	22日(月)まで	大和文化センター (☎0847・33・1115)
からだ改善のためのピラティス体験教室	30日(火) 13時30分～15時	宮浦コミュニティセンター	大人	20人	100円	26日(金)まで	宮浦コミュニティセンター (☎0848・62・7944)

図書館アラカルト

休館日 中央図書館＝休館日はありません。

本郷・久井・大和図書館＝火曜日

中央図書館(☎0848・62・3225)

- ぽけっといっばいのおはなし会
と き 4日(木)11時～11時30分
- ねむの木 おはなしのひろば
と き 6日(土)・20日(土)10時30分～11時30分
- 虹の会 絵本のよみかたり
と き 13日(土)・27日(土)14時～14時30分
※27日は手話通訳もあります。
- 虹の会 0歳からのよみかたり
と き 19日(金)10時30分～11時、11時15分～11時45分
- 読書会
と き 22日(月)13時30分～15時
内 容 『白き瓶』藤沢周平/著
講 師 吉川 五百枝さん

本郷図書館(☎0848・85・0703)

- こんぺいとう おはなし会
と き 20日(土)14時～14時30分

ほんごう子ども図書館(☎0848・86・6066)

- おはなし会
と き 2日(火)10時30分～11時、13日(土)・27日(土)14時～15時

久井図書館(☎0847・32・7138)

- おはなし会
と き 27日(土)13時30分～14時

大和図書館(☎0847・33・1115)

- 絵本とおはなしの時間
と き 土曜日10時30分～11時

- 読み語りボランティア養成講座
と き 6月10日(水)～7月1日(水)の水曜日(全4回)10時～12時
ところ サン・シープラザ4階
講 師 吉川 五百枝さん
対 象 読み語りを始めたい人や初心者など
定 員 25人(申し込み先着順)
申し込み先 中央図書館(☎0848・62・3225)





被爆二世の無料健康診断

実施期間 6月10日(水)～来年2月29日(月)

対象 両親のいずれかが原子爆弾被爆者である人(広島被爆は昭和21年6月1日以降に、長崎被爆は昭和21年6月4日以降に生まれた人)

申し込み 来年1月末までに申込書(提出先、各支所に用意)を社会福祉課(☎0848・67・6058)へ

エイズ相談・HIV抗体検査

とき 第2・4水曜日9時～11時30分、15時～16時30分

ところ 県東部保健所(尾道市古浜町)

内容 HIV抗体検査や相談(匿名可)※要予約

申し込み先 東部保健所(☎0848・25・2011)

献血のお知らせ

とき 30日(火)9時30分～11時30分
ところ 市役所本庁

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6234)

高齢者肺炎球菌ワクチン

対象者 市内に住民登録し、接種の意思が確認でき、①か②に該当する人

①今年度65・70・75・80・85・90・95・100歳になる人

②接種日に60～64歳で、心臓・腎臓・呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に重い障害がある人

※任意接種を受けた人は対象外。
※①案内文を送付②事前に各保健福祉センターで手続きが必要。

接種場所 広域予防接種受託医療機関
料金 3,000円

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6234)

もの忘れ相談

とき 11日(木)13時30分～15時30分

ところ 市役所本庁4階
内容 相談員による認知症の個別相談

定員 2人(申し込み先着順)

こんにちは 保健師です 歯科健診を受けましょう



歯周病は、歯垢に含まれる多くの菌が歯と歯茎の間に入り込み、歯茎の炎症を引き起こす病気です。進行すると、歯を支えている骨を溶かし、歯が抜けてしまうこともあります。また、菌は血管へ侵入して、全身に運ばれ、糖尿病などの生活習慣病の一因になると考えられています。初期のうちには痛みなどの自覚症状がないため気づきにくい病気ですが、30代後半の人の8割以上が歯周病にかかっていると推定されています。歯を磨くと血が出る、歯茎が腫れている、口臭が気になる、口の中がネバネバするなどの症状が見られれば、歯周病の可能性があります。歯周病の早期発見・予防のために、歯科健診を定期的に受けましょう。

三原市保健師 山中郁也

今年度、40・50・60歳になる人は 歯科健診が無料

期間 来年3月末まで

※対象者には、先月無料券を送付しています。

受診方法 市内の歯科医院に直接予約し、無料券を持参

2015歯—モニターフェアinみはら

とき 6日(土)13時30分～16時

ところ サン・シープラザ3階

内容 歯科相談、ブラッシング指導、むし歯予防図画の表彰

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6053)

精神保健福祉相談

申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

とき 17日(水)13時30分～16時

ところ 県東部保健所(尾道市古浜町)

内容 精神科医師による相談
申し込み 16日(火)までに県東部保健所(☎0848・25・4640)へ

いろいろのなんでも相談

とき 18日(木)13時30分～15時30分

ところ ①本郷保健福祉センター ②久井保健福祉センター

内容 精神科医師による相談
定員 各2人(申し込み先着順)

申し込み 16日(火)までに希望する保健福祉センター(☎0848・67・6055)へ

高齢者向け運動機器利用のための講習会

0848・86・3609② ☎0847・32・8551へ

とき ①18日(木)13時30分～15時30分 ②19日(金)14時～16時30分

ところ ①サン・シープラザ3階 ②本郷保健福祉センター

内容 運動機器を安全かつ効果的に利用するための講習

対象 要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の人

定員 15人(申し込み先着順)

申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

介護予防教室・運動コース

とき 6月18日(木)～7月9日

(木)までの木曜日(全4回)10時～11時30分

ところ 本郷生涯学習センター

内容 介護予防に効果的な運動
定員 30人(申し込み先着順)

対象 要介護・要支援認定を受けていない65～75歳の人

申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

介護予防講演会

とき 7月6日(月)14時～15時30分

ところ 大和保健福祉センター

演題 元気づくりで介護予防
血圧のコントロール

講師 大和診療所長 医師 藤家証一さん

申し込み先 高齢者福祉課(☎0848・67・6055)

児童手当現況届の提出を忘れずに

6月分以降の手当を受けるためには、現況届の提出が必要です。対象の人には、今月上旬に書類を送付します。期限内に必ず提出してください。

対象 中学生以下の子どもを養育し、児童手当を受給している人

提出期限 30日(火)

子育て世帯臨時特例給付金の申請を受け付けます

対象 平成27年6月分の児童手当(特例給付を除く)の受給者

支給額 対象児童1人につき3,000円

提出期限 12月4日(金)

申請方法 郵送(消印有効)、市民ロビー特設窓口(市役所本庁1階)または各支所で申請

問い合わせ先 子育て支援課(☎0848・67・6045)

子育て応援相談

とき 火・木曜日10時～12時、13時～15時

ところ サン・シープラザ3階

内容 乳幼児の発達や子育て相談、専門機関の紹介など

対象 乳幼児と保護者

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6061)

子育て応援



日曜日の小児科救急外来

日曜日の小児科救急外来を三原赤十字病院で行なっています。緊急を要する場合は、事前に問い合わせを利用してください。
問い合わせ先 三原赤十字病院(☎0848・64・8111)

夜間の救急電話相談

夜間の急病で、判断に迷うときは、電話で相談してください。
受付時間 毎日19時～翌朝8時
電話番号 #8000

子育て支援センターでの子育て相談

ときとところ ①5日(金)・あさかぜ保育園②11日(木)・チェリ

ツシュ(さくら保育園)③25日(木)・さんさんまりん保育園④7月2日(木)・円一保育所

※時間はいずれも10時～10時30分。
内容 身体測定、育児・栄養・歯科相談、遊びの広場

対象 乳幼児と保護者

用意する物 母子健康手帳

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6061)

水泳教室の体験会

とき 23日(火)13時～13時45分
ところ 三原スイミングスクール(宮浦四丁目)

対象 障害のある、または発達に不安のある中学生以下と家族

参加費 無料

申し込み 12日(金)までにみはらスイミー 阿部さん(☎0848・67・1528)へ



ベビーサロン

とき 18日(木)10時30分～11時30分

ところ サン・シープラザ4階

内容 母子保健推進委員によるふれあい遊びなど

対象 0歳児と保護者

問い合わせ先 保健福祉課(☎0848・67・6061)

キッズチャレンジ教室 寿司を作ろう

とき 20日(土)10時30分～12時30分

ところ サン・シープラザ3階

対象 3～6歳児と保護者

定員 10組(申し込み先着順)

用意する物 米1/2合、箸、エプロン、三角巾、タオル、飲み物

申し込み 12日(金)までに保健福祉課(☎0848・67・6053)へ

親子ストレッチ

とき 22日(月)10時～11時

ところ 中央公民館

対象 1～3歳児と保護者

定員 30組(申し込み先着順)

参加費 100円

申し込み 15日(月)までに中央公民館(☎0848・64・2137)へ

マタニティスクール

とき 7月3日(金)10時～12時

ところ サン・シープラザ3階

内容 妊娠・出産についての話、栄養講座

定員 15人(申し込み先着順)

用意する物 母子健康手帳、飲み物

申し込み 26日(金)までに保健福祉課(☎0848・67・6061)へ

ベビーマッサージ

とき 7月6日(月)①10時～11時②11時～12時

ところ 中央公民館

対象 ①2～5カ月児と保護者

②6～11カ月児と保護者

定員 各10組(申し込み先着順)

参加費 300円

申し込み 22日(月)までに中央公民館(☎0848・64・2137)へ

離乳食教室

とき 7月10日(金)13時30分～14時30分

ところ サン・シープラザ3階

内容 離乳食の進め方、調理実習、試食など

対象 0～6カ月児の保護者

定員 25人(申し込み先着順)

用意する物 母子健康手帳、エプロン、筆記用具

※託児も可能(要予約)。

申し込み 7月3日(金)までに保健福祉課(☎0848・67・6061)へ





笑顔あふれる明るい未来へ② 子どもにとってのインターネット社会

パソコンやスマートフォンの普及で、インターネットを日常的に利用できるようになり、誰もが簡単に多くの情報入手し、発信できるようになりました。

インターネットは大変便利ですが、一方で、犯罪に巻き込まれるなどの危険が伴います。では、子どもにとってはどうでしょうか。

インターネット上では、個人を特定することなく、直接会わなくてもコミュニケーションが成立します。しかし、それは子どもにとって必ずしも望ましい人間関係とは言えません。

インターネットの世界では、自分の意にそぐわない人と簡単に関係を断つことができます。しかし、現実の生活ではそうはいきません。

学校や社会では、さまざまな人と関わることで、互いに折り合いをつけ、関係を調整することが必要とされます。その力を身に付けていく中で、自分と違う新たな考え

方や価値観に出会い、他者を思いやる心や協調性が育まれるのです。

また、子どもがFacebookやLINEなどのSNS、ソーシャルネットワーク、サービスを利用する場合は、大人が十分に配慮することが必要です。近年、これらのサービスがいじめの温床となったり、見ず知らずの人と連絡を取って子どもが事件に巻き込まれたりするといった事例が後を絶ちません。利便性だけに目を奪われるのではなく、子どもがインターネットをより良く安全に利用できるよう、子どもと向き合い、責任を持って導くことが大切です。

(人権啓発広報編集委員会)



人権標語

(小学3年生の作品)

みつめよう自分の心 考えよう友だちの思い

児童館へおいでよ！

申し込み先 児童館 ☎ 0848・67・1123

わいわいひろば

と き 12日(金)10時5分～12時30分
ところ 集合:JR三原駅改札口
内 容 電車に乗って本郷図書館に行こう
定 員 15組 参加費 500円
用意する物 着替え・タオル・弁当・飲み物

弁当の日～食育講演会～

と き 14日(日)14時～15時30分
ところ 市民福祉会館
講 師 『弁当力』著者 佐藤剛史さん
対 象 小学5年以上の子と保護者
※保護者のみの参加も可。
定 員 150人 参加費 無料

親子ストレッチ

と き 17日(水)①10時～10時45分②11時～11時45分
対 象 ①0歳児②1～5歳児
定 員 各30組
用意する物 着替え・タオル・飲み物

リトミックランド

と き 18日(木)・19日(金)①10時30分～11時②11時15分～11時45分
内 容 リトミック(音楽遊び)
対 象 ①0歳児 ②18日＝2歳児、19日＝1歳児
定 員 各15組
用意する物 着替え・タオル・飲み物



茶のこころ～和親庵～

と き 20日(土)①10時15分～②11時15分～
ところ サン・シープラザ4階
内 容 お茶のお点前
対 象 3歳児以上(未就学児は保護者同伴)
定 員 各10人 参加費 250円
用意する物 ハンカチ・白いソックス

親子でつくろう

と き ①23日(火) ②26日(金)
いずれも10時30分～11時30分
内 容 絵の具遊び
対 象 ①0～1歳児②2歳児以上
定 員 各20組 参加費 100円

※いずれも申し込み先着順です。申し込み受け付けは、2日(火)10時からです。
※開館時間は10時～18時です。月曜日は休館日です。

くらしの無料相談窓口

相談日などは、変更する場合があります。事前に確認してください。

相談の種類	と き	と こ ろ	申し込み・問い合わせ先	
弁護士法律相談	19日(金)※要予約。受け付けは5日(金)8時30分から。	13時～16時	中央公民館 生活環境課 (☎0848・67・6178)	
	10日(水)・24日(水) ※いずれも要予約。利用には収入などの条件があります。	10時～16時	広島地方裁判所尾道支部内(尾道市新浜) 広島弁護士会尾道地区会 (☎0848・22・4237)	
司法書士法律相談	月～金曜日	12時～15時	電話相談 広島相談センター(☎082・511・7196)	
法的トラブルの解決法・窓口の案内		9時～16時	電話相談 法テラス広島(☎050・3383・5485)	
消費生活相談	月～金曜日	9時～12時、13時～16時 ※電話相談も可。	消費生活センター (☎0848・67・6410)	
消費生活巡回相談	12日(金)・19日(金)・26日(金)※いずれも要予約。	14時～16時 本郷・久井・大和支所		
若年者向け就職相談	月曜日※要予約。	12時～17時	サン・シープラザ3階 生涯学習課 (☎0848・64・2137)	
学校生活・勉強などの悩み相談	月～土曜日	9時～17時45分(土曜日は8時30分～17時15分)	リージョンプラザ ※電話相談も可。 三原ふれあい相談室 (☎0848・64・7201)	
学校生活の悩み・体罰などの相談	月～金曜日	8時30分～17時15分	電話相談 三原子どもサポートダイヤル(☎0848・67・6173) ※時間外は、留守番電話で対応。	
児童虐待通告窓口	毎日	24時間	電話相談 子育て支援課(☎0848・67・6088)	
家庭児童相談	月～金曜日 ※24日(水)は要予約。	9時30分～16時	サン・シープラザ3階 家庭児童相談室 (☎0848・61・0121)	
女性相談	月～金曜日			女性相談室 (☎0848・61・0122)
健康・食生活相談	18日(木)			保健福祉課 (☎0848・67・6053)
認知症相談	火・木曜日	13時～16時30分	電話相談 県地域包括ケア推進センター (☎082・553・5353)	
成年後見専門相談	11日(木)※要予約。	14時～16時	サン・シープラザ3階	
障害者なんでも相談	17日(水)※要予約。	14時～16時	本郷福祉センター	
	3日(水)※要予約。	10時～12時	久井保健福祉センター	
	12日(金)※要予約。		大和保健福祉センター	
心配ごと相談	30日を除く火・金曜日	13時～16時	サン・シープラザ3階	社会福祉協議会・各地域センター (☎0848・63・0570)
	水曜日		本郷福祉センター	(☎0848・86・3607)
	3日(水)・17日(水)	9時～12時	久井保健福祉センター	(☎0847・32・7101)
	5日(金)・19日(金)		大和人権文化センター	(☎0847・33・1308)
	12日(金)・26日(金)		大和保健福祉センター	(☎0847・34・1214)
人権相談	火・水・金曜日、1日(月)	10時～16時 (1日は13時から)	サン・シープラザ	人権推進課 (☎0848・67・6044)
	月・木曜日	10時～16時	市役所本庁4階	
	月～金曜日	10時～16時	人権文化センター	(☎0848・66・1111)
			本郷人権文化センター	(☎0848・86・3333)
			大和人権文化センター	(☎0847・33・1308)
女性の人権相談	月～金曜日	8時30分～17時15分	電話相談 法務局常設電話相談所(☎0570・003・110)	
子どもの人権相談		8時30分～17時15分	電話相談 女性の人権ホットライン(☎0570・070・810)	
		電話相談 子どもの人権110番(☎0120・007・110)		
交通事故・民事・家事相談		9時～17時	電話相談 県生活センター (☎082・223・8811)	
暴力団関係相談		8時30分～17時	電話相談 暴力追放広島県民会議(☎082・228・5050)	
登記相談	17日(水)	13時～16時	市役所本庁1階 登記証明コーナー	広島法務局尾道支局 (☎0848・23・2882)
不動産相談	5日(金)・19日(金)	10時～15時	サン・シープラザ4階	社会福祉協議会 (☎0848・63・0570)
療育・教育相談	1日(月)・22日(月)	13時～16時	サン・シープラザ3階	
戦没者遺族相談	4日(木)・18日(木)			
行政相談	15日(月)			
水防・災害対策本部専用電話			(☎0848・67・6868☎0848・67・6164)	



▲合併10周年記念式典の後、三原・本郷・久井・大和地域から集まった各団体が地域に伝わる踊りや太鼓などの芸能を披露しました(4/29 郷土芸能披露 芸術文化センター ポボロ)



▲「元気に大きく育ってね!」。船木・北方・南方小学校の児童が合同学習として、本郷沼田川漁協の皆さんが準備してくれた稚アユ約9,000匹を沼田川へ放流しました(5/11 稚アユの放流 本郷町船木)



▲新藤兼人監督の代表作「裸の島」のロケ地である宿禰島が、次男 新藤次郎さんが会長を務める「新藤兼人監督と映画『裸の島』を愛する会」から市へ寄贈されました(4/22 宿禰島贈呈式)



▲天然記念物に指定される沼田西のエヒメアヤメ自生地。訪れた人は、小さな薄紫色の花をつけた可憐な姿を楽しみました(4/11〜29 エヒメアヤメ自生地の一般公開 沼田西町松江)



投稿フォトギャラリー

撮影者 撮影日 撮影場所



レンゲ畑とこいのぼり

撮影 藤井富江さん 撮影日 平成27年5月
撮影場所 沼田東町片島



エヒメアヤメ
撮影 和田一彦さん 撮影日 平成27年4月
撮影場所 沼田西町松江



春の野の輪
撮影 山野上拓夢さん 撮影日 平成27年4月
撮影場所 本郷北四丁目



海の玄関

撮影 森平康則さん 撮影日 平成27年5月
撮影場所 三原内港

投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 4日(木)(必着)
応募資格 市内に在住か在勤・在学の学生
募集枚数 1人1枚
選考 総務広報課で選考
※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真は返却しません。
※広報誌で紹介できなかった写真は、市ホームページへ掲載することもあります。
申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影

者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を総務広報課(〒723-8601 港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ

長い髪を切る顧客に呼び掛け、寄付を募ります



一人でも多くの子どもに笑顔届けたい
病气やけがが原因で髪を失った子どもたちに、人毛を使った医療用ウィッグ(かつら)を無償で贈るヘアドネーション活動。大阪市のNPO法人ジャーダック(JHDAC)の呼び掛けで、現在、全国約250店舗の美容院が活動に賛同し、顧客から寄付された毛髪や寄付金を送っています。宮浦で美容室を営む木下民江さんもそのひとり。仕事仲間から話を聞き、「美容師だからこそできる社会貢献」とすぐに参加しました。

ウィッグの提供を受けた子どもは、最寄りの美容院で希望の髪形に仕上げます。「いつか自分の店で子どもの喜ぶ顔が見たい」と木下さん。一人でも多くの子どもに笑顔届けようと呼び掛けを続けます。問い合わせは、木下さん(☎0848-648139)まで。

昨年11月に活動を始め、店を訪れた顧客に声を掛けて寄付を募っています。テレビや新聞で活動が紹介され、市外から訪れる人も増えました。「切った髪を郵送してくれた人もいる」と感激します。ウィッグ1個を作るのに要する髪量は20〜30人分。しかも31cm以上の長さが必要です。これまで送ることができた髪は35人分。「順番を待っている子どもたちのためにも、まだまだ集めたい」と木下さんは力を込めます。



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。



木下民江さん

病気の子どもたちのために医療用ウィッグになる髪を送る



瀬戸内三原
築城450年事業

三原の光を観よう、 魅せよう。……②

今回、三原の魅力に光を当て
るのは、看護学科2年の山崎
沙依さんです

「ふるさと三原」を次の世代へと伝えていく連
載企画。県立広島大学三原キャンパスの学生と
三原の歴史や文化を再発見していきます。



待ち合わせ場所に爽やかな笑
顔で現れた山崎さんに、
「笑顔が癒されますね」
「本当ですか？ 私は、授業
やアルバイトで毎日クタクタで
す。癒されたいなあ」
そんな山崎さんは、自然が大
好き。夏が近づき始めたことも
あり、涼と癒しを求めて向かっ
たのは、本郷町船木にある瀑雪
の滝。



「本当に気持ちいいですね。水
滴の飛沫がかすかに見える。ま
るで雪みたい」と山崎さん。

「滝ってなかなか近場になく
て、来てみると体の中からきれ
いになる感じがする。マイナス
イオンっていうのかな」

「次は、橋の上から滝を見て
みましょう」
「三矢……橋？」



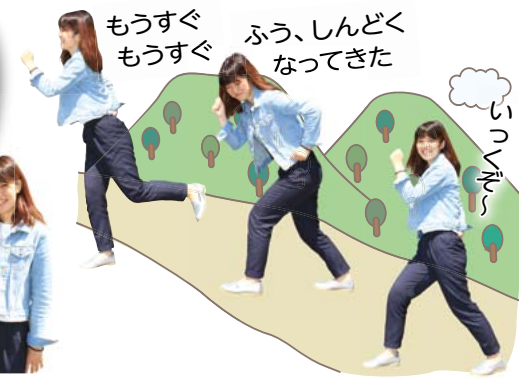
「毛利元就といえば『三矢の教
え』。一本ではもろい矢も三本束
ねれば折るのは難しい。結束し
て助け合うことの大切さを説い
た教えとして伝えられています。
この橋も実は三本の鉄パイプから
できていて折れにくいんです」

「三本の矢か。1つだけでは、
力が弱い。それって、未来の三
原のことも同じかな。市民企
業・行政が一体となって頑張ら
ないといけない。三原城築城4
50年に向けて私たち若い世代
が出来ることを考えてみたい」
と山崎さん。



私にできること。
三原の魅力発信

滝から遊歩道を登って、元就
が涼をとった後に宴を催したと
伝えられる棲真寺へ。



棲真寺公園！



棲真寺公園には広島空港
大橋が眺められるデッキも

夏も近づき、暑くなる季節。
皆さんも瀑雪の滝で涼をとっ
てみてはいかがでしょうか。

観光課

0848・67・6014

三原市の人口(4月30日現在)

世帯数	44,000 世帯 (+100)
人口	98,312 人 (-737)
男	46,971 人 (-379)
女	51,341 人 (-358)

※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

税などの納期(普通徴収)

〇市県民税(第1期)
納期限 6月30日(火)
夜間収納窓口(19時まで)
4日(木)・11日(木)・18日(木)・25日(木)

航空機の騒音測定結果(4月分) (Lden)

▶正広局(本郷町善入寺正広)=48.3 ▶本郷局(本郷町船木川西上)=52.1

あ・と・が・き
先月の担当者と同じく、4
月にこの部署にやって
来ました。あつと言う間に2
カ月が過ぎようとしています
▼恵下谷を毎日降り降りして
いる私。季節はいつの間にか
ら、セミの鳴き声、カエルの
合唱と初夏の装い。木々の若
葉も日々濃くなってきている
ようです▼広報担当としては
若葉マークの私ですが、木々
の若葉に負けないように色濃
く成長して、内容の濃いもの
を皆さんにお届けできるよう
に頑張ります。(H)